

ギフチョウ

ギフチョウはアゲハチョウ科で、黒と黄の縦じまが交互に並ぶ開張5～6cmのチョウです。成虫が春に見られることから、「春の女神」とも言われます。環境省レッドリスト及び静岡県レッドリストでは絶滅危惧2類に指定されており、市内では枯山等で確認されています。

本市では、「浜松市ギフチョウの保護に関する条例」に基づき、ギフチョウの保護監視活動をしています。なお、「浜川自然環境保全地域」においては、ギフチョウの採取・捕獲・殺傷やヒメカンアオイ（幼虫の食草）の採取・損傷を禁止しており、違反した場合は5万円以下の罰金又は科料に処されます。





枯山とは?

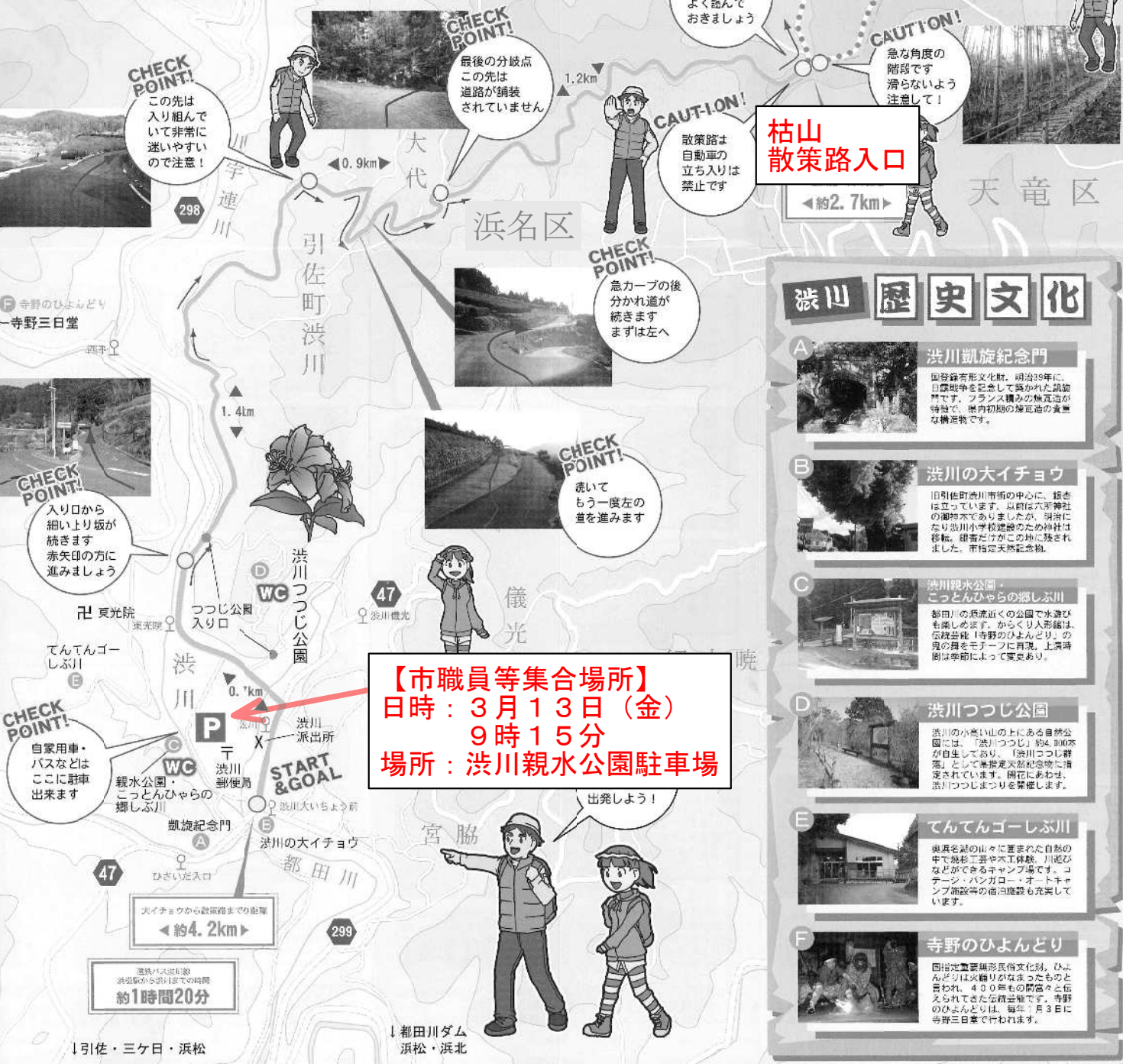
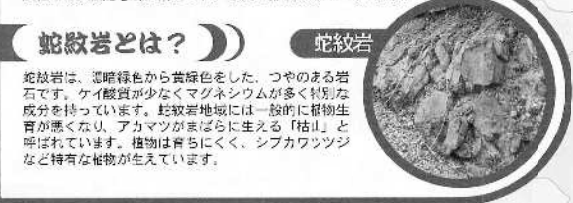
この地域は粘板岩地帯で土地がやせているため、普通の植物は育ちにくい山です。ギフチョウをはじめ貴重な動植物が生息する山として有名です。2~3mほどの散策道が整備され、ゆっくり歩いても1周1時間程度で歩けます。山頂付近からは天竜・熊上沖沢が望め、引佐の山々も見渡せます。

ギフチョウ生息の条件

ギフチョウは、日本だけにすむアゲハチョウの仲間です。生息の条件としては、
①雑木林があること、
②カンアオイが生えていることです。
ギフチョウの幼虫はカンアオイなどのやわらかな葉を食うため、そのような植物が生息する環境であることが必要です。浜松市の天然記念物に指定され、条例で採種を禁止しています。

粘板岩とは?

粘板岩は、暗緑色から黄緑色をした、つやのある岩石です。ケイ酸質が少なくマグネシウムが多く特別な成分を持っています。粘板岩地域には一般的に植物生育が悪くなり、アカマツがまばらに生える「枯山」と呼ばれています。植物は育ちにくく、シブカワツツジなど特有な植物が生えています。



【市職員等集合場所】
日時：3月13日(金)
9時15分
場所：渋川親水公園駐車場

渋川歴史文化

A 渋川凱旋記念門
国営森有形文化財。明治39年に、日露戦争を記念して築かれた凱旋門です。フランス積み風の煉瓦造りで特徴的。境内初期の煉瓦造の貴重な構造物です。

B 渋川の大イチョウ
旧引佐町渋川市街の中心に、鉾木は立っています。以前は天宮神社の御神木でありましたが、明治になり渋川小学校建設のため神社は移り、鉾木だけがこの地に残されました。市指定天然記念物。

C 渋川親水公園・こっどんひやらの郷しぶ川
鉾田川の橋流近くの公園で水遊びも楽しめます。からくり人形船は伝統芸能「寺野のひよんどり」の鬼の舞をモチーフに再現。上演時間は季節によって変更あり。

D 渋川つつじ公園
渋川の小さい山の上にある自然公園には、「渋川つつじ」約4,000本が自生しており、「渋川つつじ群落」として県指定天然記念物に指定されています。園内にあまは渋川つつじまつりを開催します。

E てんでんゴーしぶ川
奥山を削る山々に置かれた自然の中で焼杉工芸や木工体験、川遊びなどができるキャンプ場です。コテージ・バンガロー・オートキャンプ施設等の宿泊施設も充実しています。

F 寺野のひよんどり
国指定重要無形民俗文化財。ひよんどりは火輪舞がなまったものと言われて、400年もの歴史があると伝えられてきた伝統芸能です。寺野のひよんどりは、毎年3月3日に寺野で自演で行われます。

↓引佐・三ヶ日・浜松

↓都田川ダム
浜松・浜北